

平成 26 年度 地域との連携及び学校行事

紀美野町立美里中学校

1 今年度の共育コミュニティ事業及び他団体との交流体験活動

① 通街頭指導（毎月 15 日）

下校安全パトロール（5 月、10 月、2 月）

② チューリップ栽培 6/23、チューリップ植え 12/2

③ 学習支援（交流学习、先輩に学ぶ会、出前授業）

- ・「スマホ・ネットに潜む危険」出前授業（IPA 楠木真次）4/29
 - ・茶道体験 5/7、8、12/11、 保育所交流茶道 5/8
 - ・ブラッシング指導 6/5
 - ・出張！減災教室 6/16
 - ・社会福祉協議会講演会「避難所ボランティアについて」6/25
 - ・熱中症対策出前授業 7/4
 - ・ゲートボール 6/18、ソラン指導 8/8、総合防災訓練に向けての防災研修 8/8
 - ・和大附属特別支援学校との交流 9/25、11/29
 - ・3 年家庭科保育所体験 11/27、わらべ歌 11/26
 - ・2 年生「つるし柿作り体験」（下神野サロンの方々）11/28
 - ・先輩に学ぶ会 12/8「看護師の仕事」（横出知里さんと中田ひかるさん）
 - ・「スマートフォンやポータブルゲームに潜む危険」篠原嘉一さん出前授業 2/23
 - ・体育「ダンス指導」1/15、16
 - ・性教育「助産師出前授業」2・3 年 12/15、1 年「思春期体験」12/19
 - ・1・2 年りら創造芸術高専「NO！危険ドラッグ」観劇 1/30
- ### ④ 生徒会ボランティア・・・保育所夕涼み会、こども祭り、河川清掃
- ### ⑤ 地域の方のアートワーカー・写真展示
- ### ⑥ 伝統文化体験事業（カゴ作り）、共育集会 1/28
- ### ⑦ 親子教育講演会「薬草から学ぶ」6/23（講師 森下富夫氏）
- ### ⑧ 自主防共催「避難所運営訓練」共育集会 9/1
- ### ⑨ 文化庁文化芸術による子供の育成事業 2/4 京都能楽囃子方同明会「囃子堂」 保護者・一般 7 人来校
- ### ⑩ 広報活動（美中だより・広報きみの）



保育所交流茶道体験 5/8

2 地域と共催の総合防災避難訓練

○テーマ 地域の受援力を高めるために～「地域共催避難所運営訓練」を通して～

○活動内容

下神野地区自主防災組織と共催で「避難所運営訓練」と「防災体験」を実施した。「避難所運営訓練は、生徒が下神野・上神野・福田地区に分かれて、避難者登録訓練を実施した。訓練後、「AED講習・体験」

「オイル缶鍋炊きご飯実演・試食体験」「紙芝居」「防災グッズ作り」「煙体験」「避難所仕切り等の避難所グッズ展示」「写真展示」等の体験を生徒が中心になり案内や説明等の運営を行った。

○日程

(1) 12:50 紀伊半島沖を震源とする南海・東南海地震発生後無事に避難完了した後を想定。

(2) 13:00 地域の方、保育所、小学校避難訓練開始

①本校生徒による地域の方の避難者登録訓練(体育館)

②開会式…開会のあいさつ(自主防会長・生徒会長)

(3) 13:15～ 体験開始

○保育所園児は、中学生が紙芝居を実演

○地域の方と1年生がAED講習実施。

○DVD「犠牲者“ゼロ”をめざして」上映

○避難所講話…東日本大震災のボランティア体験をはなして下さる。

○オイル缶鍋炊きご飯の実演(運動場)…3年生・2年生の男子

○小学生に中学生が防災グッズ作りを指導

○煙体験

○防災用具(避難所仕切り・毛布・簡易トイレ・テント・水など)展示

○写真展示

○健康相談コーナー(保健福祉課)

○非常食(ポン菓子)作り(青少年センター)

○鍋炊きご飯試食(育友会が炊きだしたカレーをかけて食べてもらう)

(4) 15:00 閉会式 …閉会のあいさつ(自主防会長・生徒会長)

○参加者

地域の方42人(コーディネーター1人含む) 保育所(園児24人、職員4人) 小学校(児童40人、職員5人) 中学校(生徒40人、職員13人、保護者10人) 自主防・役場・消防本部・社協・保健福祉・青少年センター他(27人) 合計205人

○保護者の意見

昨年度警報発令のため実施できなかったのが、「今年度実施できて本当によかった。」との意見が多数寄せられた。県教委生涯学習課の先生から、『学校と地域が連携し、地域の方々、保育園児、小学生児童も参加しての訓練、まさに地域と一体になった取り組みですね。そして中学生が主体者となって活動している様子には大変感動しました。災害時、中学生は十分主体者になり得るんだと改めて感じることができました。また、災害用のテントや段ボールの仕切り、長期保存用水などの展示もよかったですね。実際に体育館でこの仕切りの中で寝るんだな、とか具体的に想像できました。』と、大変評価してくださいました。また、炊き出しを担当してくれた保護者からは、『生徒が炊いた「鍋だきご飯」がとてもおいしかったので、来年から「おにぎり」がいいのではないかと』という声が寄せられ、地域の方にも「鍋だきご飯」の炊き方には人気があった。

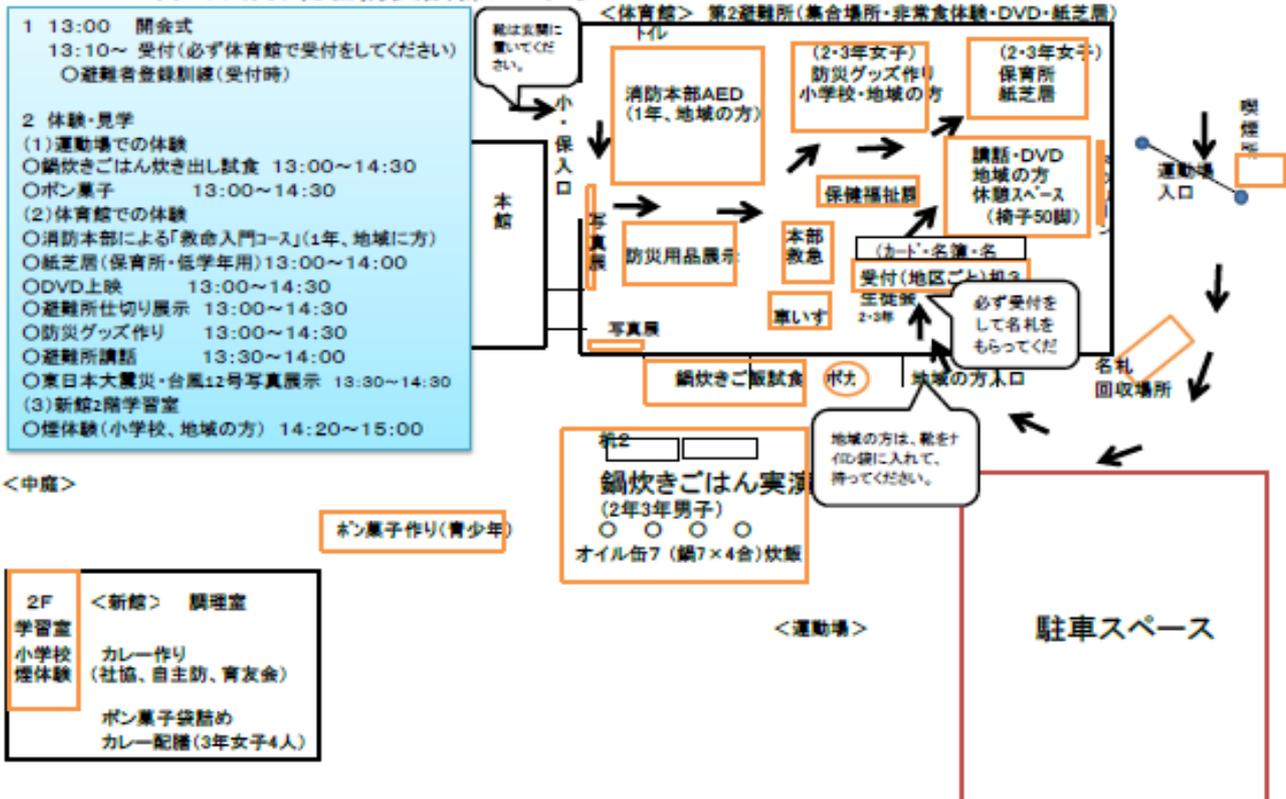
○教職員の意見

始業式早々であったので生徒を動かすには大変な面もあるが、地域の方々が喜んでる姿と喜びの声をいただき、高齢化の進む本地区では、中学生の「共助」として果たすべき役割が大きいと、防災につい

ては地域と共に毎年実践型の訓練を実施していかなければならないと考えており、今年度の取組で形ができたので、継続して取り組んでいきたい。

中学生に「共助」の力をつけるためには、地域の方と共に訓練するほかないと考え、3年前から自主防と共催の「総合防災訓練」を立ち上げたが、地域・保育所・小学校・中学校が一同に集まったの訓練は、中学生の地域参画意識を育て、ふるさとや周りの人々を思いやる気持ちを育てる。地域を活性化するためにも、学校が中心になって地域と連携した取組を続けていきたい。

9月1日(月)総合防災訓練プログラム



9月1日の下神野自主防共催総合防災訓練にご参加・ご協力くださり、ありがとうございました。地域の方(上神野22人、下神野12人、福田8人)計42人、神野保育所(年長年中24人、職員4人)、下神野小学校4～6年(40人、職員5人)、美里中学校(生徒40人、職員13人、保護者10人)小計178人、スタッフとして下神野自主防災組織、紀美野町役場、紀美野町消防本部、社会福祉協議会、保健福祉課、青少年センター、テレビ和歌山、県教委(小計27人)、合計205人の人が参加してくださり、大成功でした。県生涯学習課の淡路先生より次のように評価していただきました。『学校と地域が連携し、地域の方々、保育園児、小学生児童も参加しての訓練、まさに地域と一体になった取り組みですね。そして中学生が主体者となって活動している様子には大変感動しました。災害時、中学生は十分主体者になり得るんだと改めて感じる事ができました。』(礼状より抜粋)

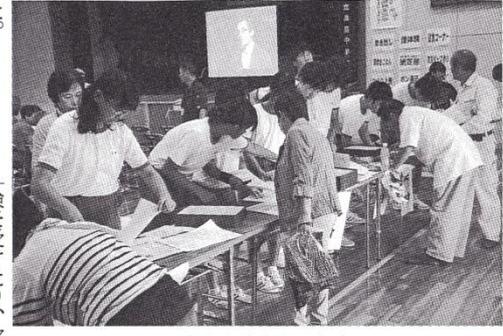
地域共催総合防災訓練大成功

紀美野 美里中学校で1日、総合防災訓練が行われ、生徒はじめ地域の約200人が参加した。災害が発生したと想定し、地域住民や神野保育所園児、下神野小学校児童が美里中に避難。生徒が避難所運営ボランティアとして「避難者登録」を行った。地区ごとに一人ずつカード記入を依頼し、それぞれの名札と名簿を作成。丁寧な説明や声掛けでスムーズに登録していった。その後、参加者は講話やDVDで防災や避難所について学習。救命講習や煙体験を受けた。出したりボン菓子を食したりした他、紙芝居や防災グッズ作り、避難所関係や災害写真の展示があり、万が一の事態に備えて地域で連携意識を高めた。

名札と名簿を作る生徒

生徒が避難者を登録

美里中 地域防災訓練に200人



9月1日美里中学校「避難所運営訓練」「防災体験」



避難所講話

地域の方「避難所講話」・保育所園児「紙芝居」



紙芝居



防災グッズ作り



AED講習

オイル缶鍋炊きご飯実演



8月8日の練習では上手く出来なかったが、当日は上手くおいしく炊けました。地域の方に大変好評



鍋炊きご飯試食体験



避難所仕切り展示





避難者登録
訓練実施中



防災トイレの作り方を小学
5・6年生に説明しています。



「オイル缶鍋炊きご飯」は
地域の方々に好評でした。



AED体験



紙芝居



煙体験



避難所グッズ体験



✎ 共育コミュニティコーナーについて ✎

共育コミュニティ事業の取組も8年目を迎えました。今年度も育友会進路対策部の協力を得ながら、引き続き保護者の皆様や地域の皆様のご協力でいろいろな行事を楽しく進めていきたいと考えています。

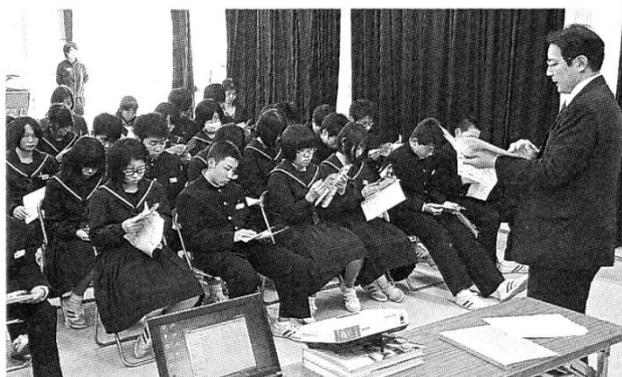
取組の内容は、学校環境整備(チューリップの栽培)、保育所との交流(家庭科「保育単元」実習への協力)、地域との交流(伝統文化体験事業や「先輩に学ぶ会」、共育集会)などを計画します。学校が生徒・保護者・地域の方の出会いの場となるように取り組みたいと考え、引き続き、親子で学んだり、物作りに挑戦したりする事業を実施します。是非保護者の皆様の参加をお願いします。

今年度は、育友会人権部主催の親子教育講演会も伝統文化体験事業で毎年お世話になっている真国花の原地区の森下さんに「薬草」のお話をさせていただこうと計画しています。

また、地域との連携の中心事業になる昨年度警報のため実施できなかった下神野地区自主防災組織共催の総合防災訓練に取り組み、地域との連携を強めていきます。今年度は9月1日です。避難所運営ボランティアと炊き出しを中心に活動します。昨年度の県PTA研修会で、「地域の受援力を高めるために」「保育所・小学校・中学校・地域が繋がる育友会活動」をテーマに本校育友会長が提案発表し、大きな評価をいただき、育友会活動として継続していかねばとの気持ちを強く持ちました。是非、保護者の皆様のお力をお貸しください。6月25日には毎年社会福祉協議会にお世話いただき、防災ボランティアについて、防災研修の講演会をもちます。

また、22年度から玄関にアートフラワーと写真をお借りして展示しています。

「スマホ・ネットに潜む危険」出前授業4/23



楠木さんの話を聞く生徒

大切なもの考え、安全に

美里中 スマホ・ネット出前授業

紀美野

紀美野町のA)戦略企画部の楠がエスカレートしやすい」と注意を呼び来校。スマートフォンやインターネットを「便利なもの」として「負」の側面を説明し、安全な使用を訴えた。

「家族や仲間、時間、自分。本当に大切なものは何か考えほしい」と話した。

学校によると、全校生徒41人のうちほとんどがスマートフォンやインターネットを利用している状況。生徒会長の東佑哉君(3年)は「使う時のルールを決めていなかったら家で話しかけて慎重に利用したい。今のこの時間を大切にしたいと思う」と話していた。

美里中で交流茶道体験



紀美野町の美里中学校（大西孝亮校長）で9日、交流茶道体験が行われ、3年生16人が園児に茶を振る舞った。
裏千家、橋本宗雪さんが講師。神野保育所の年長児11人を招待した。あいさつから菓子を出し、茶をたて、差し上げるまで一連の点前を実践。優しくおもてなしの心を持ち、茶の湯を通してふれあいを深めた。



園児と交流を深める3年生



出張！減災教室6.16



3年生は来たる9月1日に向けて、しっかりと、みっちり、避難所運営ゲームに取り組みました。班で協力して250の事例の人々を避難所へ入れるべく考えました。大人でも大変なことにチャレンジしました。さすが3年生！落ち着いて取り組んでいました。時間は3時間半ぐらいかかりました。

社協「防災講演会」6.25

ボランティアの心得学ぶ

美里中学校で防災講演会

紀美野町の美里中学校（大西孝亮校長）で25日、防災講演会が開かれ、生徒が災害ボランティアの心得を学んだ。
講師。「防災とボランティア活動を知ろう」の南出考氏が、「何かお手伝いしましょうか」の気持ちで声をかける。②何の手助けが必要か、まず「聞く」③自分ができる手助けをする。④一人で無理な時は周りの人に声をかけ協力してもらう。⑤コミュニケーション(会話)をとりながら「笑顔」で手助けを！
とわれ、冒頭にも挨拶の大切さ（＝挨拶は心を開くもの）に触れた。また、昨年同様にじゃんけんゲーム形式で10枚のカードから災害で捨てられないものをバリンクして、じゃんけんで負けた人がカードを捨てていく。生徒には被災者ということは大変な何かを失うことだということが良くわかった。被災者の悲しみを理解して、被災者に寄り添いながら笑顔で挨拶し、声かけすることが中学生に出来る一番のボランティアなのだろう。



今年も6月25日に社会福祉協議会のご協力を得て、和歌山県社会福祉協議会、和歌山県ボランティアセンターの南出考氏に「防災とボランティア活動を知ろう」サブテーマ「災害時にもつながり、助けあえる仲間に」講演していただいた。中でも『ボランティア活動の心得』では『①「何かお手伝いしましょうか」の気持ちで声をかける。②何の手助けが必要か、まず「聞く」③自分ができる手助けをする。④一人で無理な時は周りの人に声をかけ協力してもらう。⑤コミュニケーション(会話)をとりながら「笑顔」で手助けを！』と言われ、冒頭にも挨拶の大切さ（＝挨拶は心を開くもの）に触れた。また、昨年同様にじゃんけんゲーム形式で10枚のカードから災害で捨てられないものをバリンクして、じゃんけんで負けた人がカードを捨てていく。生徒には被災者ということは大変な何かを失うことだということが良くわかった。被災者の悲しみを理解して、被災者に寄り添いながら笑顔で挨拶し、声かけすることが中学生に出来る一番のボランティアなのだろう。

手助けをする④一人で無理な時は周りの人に協力してもらおう⑤コミュニケーションをとりながら笑顔で——といったポイントをアドバイスした。
9月1日に予定されている地域の総合防災訓練に向けた学習として行われ、被災者についても理解を深めた。

共育コミュニティコーナー

6月の共育コミュニティ事業としては、6月18日(水)には、農村センター体育館で、1年生が紀美野町ゲートゴルフ協会の弓庭会長さん、南條さん、中本さんの3名と小壺コーディネーターにゲートゴルフを教えてくださいました。雨だったため体育館で実施し、屋内ゲートゴルフは難しいそうですが、1年生は「たいへん上手!」とほめていただきました。

また今月の写真は、西増さんの作品を展示しています。

共育コミュニティ1年ゲートゴルフ体験6.18



授業参観・親子教育講演会『薬草から学ぶ』講師 森下 富夫氏 6.23

薬草一覽

森下さんは、右の表の19種類の薬草の実物を持ってきてくださり、名前の由来や効能について、楽しく丁寧に教えてくださいました。「マタタビ」は旅人が疲れて木の根元に座り込んでいて、実を食べたら、また旅に出れるようになった。「オトギリ草」は鷹匠が門外不出にしていた鷹につける傷薬を、弟が他人に漏らしてしまったことに腹を立てた兄が弟を切ってしまったことに由来。「テンダイウヤク」は秦の始皇帝時代に不老不死の薬を求めて、日本にやってきた徐副が東方へ出発する理由にしたもの。等いろんなお話が聞けました。いただいた薬草は学校の畑に植えています。



	名前	効能	備考
1	ゲンショウコ 三大薬草	下痢止め・熱する 便秘・冷ます	東日本・白 西日本・赤
2	ドクダミ(十葉) 三大薬草	利尿・便通・夏バテ予防ほか	天ぷら くさみ→うまみ
3	オオバコ 三大薬草	咳止め・健胃・利尿	車前草
4	ウコン	肝臓病・健胃	インド クルクミン 食品の色づけカレー
5	マタタビ	神経痛・リウマチ・冷え症	木天蓼(もくてんりょう) 猫にマタタビ
6	クマザサ	胃炎	
7	セキショウ	空気の浄化	穴の働きを健全に
8	オトギリ草	切り傷	
9	キラン草	胃・十二指腸潰瘍	地獄の釜のふた
10	テンダイウヤク	芳香性健胃薬	徐福
11	エキナセア	風邪の初期症状・花粉症・天然の抗生物質	ヨーロッパ薬品
12	フジバカマ	利尿・強壮	秋の七草 オフクハナスキ
13	ウツボ草	利尿剤 夏枯草	キツネのまくら
14	ヒトツ葉	腎臓病	クリハラン
15	アーティチョーク	利尿・胆汁分泌促進作用	蕾 ゆがいて食用
16	ステビア	低カロリー・糖尿病・ダイエット	砂糖の200~300倍の甘み
17	イノモト草	前立腺・肥大・利尿	鳥の足
18	桑の葉	生活習慣病の妙薬(糖尿・動脈硬化・ダイエット)	カイコ
19	キンミズヒキ草	利尿剤、扁桃腺炎、口内炎	腎臓草(九度山の呼び名)

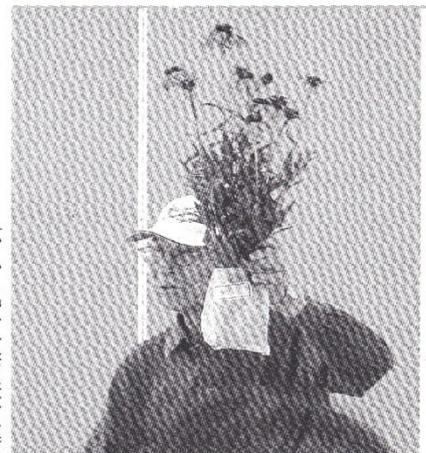
紀美野

薬草紹介に興味津々

美里中で親子教育講演会

紀美野町の美里中学校(大西孝亮校長)でこのほど、親子教育講演会が開催された。講師として、森下富夫氏が講演し、19種類の薬草を紹介し、実物を見せながら名前の由来や効能を語った。「マタタビ」は「疲れて座り込んでいた旅人が実を食べると『また旅』に出られるようになった」ことが名前の由来。「エキナセア」は風邪薬になるなど、子どもにも興味津々の様子で聞き入っていた。

同町花野原の森下富夫さんが講師。薬草から学ぶ」をテーマに19種類の薬草を紹介し、実物を見せながら名前の由来や効能を語った。「マタタビ」は「疲れて座り込んでいた旅人が実を食べると『また旅』に出られるようになった」ことが名前の由来。「エキナセア」は風邪薬になるなど、子どもにも興味津々の様子で聞き入っていた。



実物を手に説明する森下さん

総合防災訓練に向けて8. 8



3年生ソーラン指導8. 8

9月1日の総合防災訓練に向けて、3年生は8月8日の午前中に、役場総務課の山野さんと下神野自主防会長松本さんに来ていただき、防災グッズ「マイトイレ」の作り方と、避難所仕切り板や防災毛布の体験をしました。そのあと中庭で鍋炊きご飯の実習を行い、レトルトカレーをかけて食べました。



生徒会ボランティア活動 河川一斉清掃8/30

川清掃生部会が今年3年生の自主的に参加し、執行部向中本友谷さんと共に行友加が、涼が、のささき川をきれいにしてくれました。

紀美野
紀美野町のきれいにした。7つ美里中学校の生徒ら旧美里町内の地区でそれぞれ集が汗。パーベキュー30日、河川のまわり、さらに分かれのこみやたばこの吸一斉清掃活動で河川のほほ全域い殻が落ちており、が行われ、地域住民にわたって掃除。心初めて参加したといら約140人が参加なくボイ捨てされたう3年生の辻涼君（15）は「とてもイヤ、捨てないでほしい。きれいなって（竹内隆会長）の取。下神野地区では十る貴志川と真国川を三神社近くの川原でかに話していた。

もうごみ捨てないで
美里で河川一斉清掃



川原のゴミを拾う参加者

熱中症対策出前授業7/4



今年も松本守信さんの紹介で大塚製薬の後藤さんに熱中症対策のお話をいただきました。暑い日が続く中でのクラブ活動。水分補給をこまめにとって、熱中症にならないようにしましょう！また、松本さんからボカリスウェット1本ずつ生徒にいただきました。

1年生交流学習9. 25



平成26年度 第33回交流教育

10:40 出会いの会（校長・生徒挨拶）

きいちゃんダンス、自己紹介

11:10 レクリエーション（ゲートゴルフ）

12:00 昼食・フリータイム

13:10 お別れ会（お土産交換・歌）

13:50 和附特の生徒出発

雨が心配されましたが、計画通りゲートゴルフができ、今年の1年生はとてもフレンドリーに和附特の生徒達と触れ合うことができました。和附特の副校長先生は「交流学習が33年目。とても先進的な取組。続けていってほしい。」と話してくれました。



地域の方のアート作品展示



高齢者との交流 つるし柿作り体験11.28

神野市場サロンの方々に学校へ来ていただき、2年生が「つるし柿」の作り方を教えていただきながら、交流しました。



保育所体験11.27



紀美野町の美里中学校（大西孝亮校長）で11月28日、2年生と高齢者の交流

が行われ、生徒と地域のお年寄りが「つるし柿（干し柿）」を作った。

正月までに出来上がる予定。カビが付かないよう、世話していく。



地域のお年寄りと一緒に作業する生徒

美里中
2年生
和気あいあい「つるし柿」
高齢者と交流で伝統体験

1年第2回和附特交流学習11.28



チューリップの球根植え12.5

共育公民事業「先輩に学ぶ会」12.8



今年は横出知里さんと中田ひかるさん2人の看護師さんを迎え、「看護師の仕事」や「職業を選んだ理由」等についてお話していただき、「あかちゃん沐浴体験」や「血圧測定体験」等もさせていただきました。

看護師の仕事、身近に

美里中生 先輩から生き方を学ぶ

紀美野

紀美野町の
美里中学校
(人西孝亮校
長)で、先

輩に学ぶ「会」が開か
れ、生徒が「生き方」
について学んだ。

共育コミュニティ
事業の一環で、共育
コーディネーターの
小巻醇子さんが同校
の卒業生で看護師の
2人をコーディネー
ト。現役の横出知里
さん、子育て中の中
田ひかるさんが来校
し、仕事や資格、志
したきっかけなどを
語った。



血圧測定を体験する生徒

沐浴(もくよく)と血圧測定体験や
質問タイムもあり、
生徒には身近に看護
師という職にふれる
とともに、将来につ
いて考える機会とな
った。

茶道体験12. 10



思春期教室12/15 12/19



体育ダンス指導1/16,17

特別非常勤講師として繁松知里先生が、
体育の時間にヒップホップダンスを教えて
くれました。2日間1・2年生合同で3
限4限に取り組みました。「今年は初めか
らリリですよ。」と先生が褒めてくれた甲
斐があり、2日目の発表時には、グルー
ごとに工夫の跡が見られました。後日、
2年生のグループ毎の創作ダンスの発表
会には、曲は嵐対関ジャニのジャニーズ対
決のダンスを披露してくれました。男子
もリリで踊っていました。



伝統文化体験事業1月28日(水)



今年は⑤⑥限2時間あるので、少し大きめのミカンを入れられるぐらいの正方形の低めのカゴを作りました。まず、最初に森下さんから底の部分の作り方を説明してもらい、クラスごとに円になって、教えていただきました。保護者も6人参加してくれました。



真国・花野原の森下富夫さんら5人が講師で来校。竹の代わりに、こん包用テープで、かご作り体験が行われ、1、2年生合わせて23人と保護者らが地域住民に教わってかごを作った。

紀美野

紀美野町の美里中学校(大西孝亮校長)で1月28日、共育コミュニケーション事業の伝統文化体験が行われ、1、2年生合わせて23人と保護者らが地域住民に教わってかごを作った。

地域の人に教わって

美里中共育 伝統体験でかご作り



地域住民に教わりかごを作る生徒

文化庁「文化芸術による子供の育成事業「囃子堂」(京都能楽囃子方同明会)」2.4

気迫の演奏に感動

生徒共演も 美里中で能楽公演



囃子方と小鼓で共演する生徒

紀美野 紀美野町の美里中学校(大西孝亮校長、生徒40人)で4日、能楽公演「囃子堂」この国のクらしックを聴く」が行われ、生徒や地域住民らが一流の囃子方による気迫あふれる演奏を堪能。心を振るわせ、日本の古典芸術を楽しんだ。

「こー」「よー」といった掛け声を発し、緩急激しい「養老水波之伝」、能楽囃子の真髄といわれる「獅子」の2曲を披露。生徒らは間近で繰り広げられる「本物」に感動した様子だった。

オープニング「早稲」
 始まりの挨拶と能楽の歴史の紹介…… 能楽囃子ってどんなもの?
 各楽器の紹介…… 能楽に使う楽器を紹介します。
 かけ声で表現してみよう…… カケ声でいろんなことを表現してみよう。
 能楽囃子の表現法「大々」「縮み」…… 楽家の仕方ではじかるとは。
 一休 節…… 楽家のあそびは音楽と縁が深い。
 みんなと共演「三番目」…… ワークショップで練習した「三番目」を行ってみよう。
 眞若末流之伝…… 深いゆかり、深いリズムがすぐく変化する。
 獅子…… 静と動、疾迅、能楽囃子の真髄です。
 終わりの挨拶と質問コーナー

【一般社団法人 京都能楽囃子方同明会】
 京都を活動の中心とする能楽囃子方の団体です。囃子方ならではの能楽公演(補助金助成)や能楽囃子の音楽性にもスポットを当て、「囃子堂」公演、ワークショップを中心とした学校公演、子ども達への普及啓蒙活動、これも能楽囃子音楽文化の発展に貢献する活動も積極的に行っています。大正7年の創立です。 <http://noh-doumeikai.com>

出演	前座 志保 幸徳 ①	囃子 保良 ②	形徳 太郎 ③
小鼓	若菜 一郎 ④	若菜 幸徳 ⑤	曾我 尚徳 ⑥
太鼓	曾我 尚徳 ⑦	若村 大 ⑧	
太鼓	井上 光也 ⑨	藤川 光也 ⑩	
司会 前座	井林 名也 ⑪	若村 保良 ⑫	



3 まとめ

昨年度警報発令に阻まれ実施できなかった1日開催で計画した大がかりな地域連携総合防災訓練が、今年度は半日開催で実施できたことが良かった。「今年度実施できて本当によかった。」との声が多数寄せられた。この共育コミュニティ事業は、地域の方に学校へ来ていただき、伝統文化体験事業や先輩に学ぶ会等出前授業の形で、学校（生徒）と地域が交流することが多く、学校にとっては大変ありがたい授業である。しかし、地域と保護者との交流が少なく、地域の方に還元できていないことが課題であった。そこで、東日本大震災以来中学生に求められることは「共助」の力であり、一人暮らしの多いこの地域で、大切なことは「防災」ではないかと考え、3年前に、「避難者誘導訓練」を実施した。その反響は大きく、「また来年もやってよ。」「避難の道がわかった。中学校へボランティアしますよ。」と喜びの声が多数寄せられ、実行委員会で「来年は炊き出しもして、1日開催で総合防災訓練を実施しよう。」と言うことになり昨年度は計画したものである。その上に立って、規模は小さくなったが、何年も継続できる、中学生が中心に活動する、保育所・小学校・中学校・地域・行政がみんなで取り組む総合防災訓練の形ができた。

県教委生涯学習課の先生より、『学校と地域が連携し、地域の方々、保育園児、小学生児童も参加しての訓練、まさに地域と一体になった取り組みですね。そして中学生が主体者となって活動している様子には大変感動しました。災害時、中学生は十分主体者になり得るんだと改めて感じることができました。また、災害用のテントや段ボールの仕切り、長期保存用水などの展示も良かったですね。実際に体育館でこの仕切りの中で寝るんだな、とか具体的に想像できました。』と、大変評価していただいた。また、炊き出しを担当してくれた保護者からは、『生徒が炊いた「鍋だきご飯」がとてもおいしかったので、来年から「カレー」をかけずに、「おにぎり」がいいのではないかと』という声が寄せられ、地域の方にも「オイル缶鍋だきご飯」の炊き方は大変人気があった。

当日は始業式早々であったので生徒を動かすには大変な面もあるが、地域の方々が喜んでいて姿と喜びの声をいただき、高齢化の進む本地区では、中学生の「共助」として果たすべき役割が大きいため、防災については地域と共に毎年実践型の訓練を実施していかなければならないと考えており、今年度の取組で形ができたので、継続して取り組んでいきたい。

中学生に「共助」の力をつけるためには、地域の方と共に訓練するほかないと考え、3年前から自主防と共催の「総合防災訓練」を立ち上げたが、地域・保育所・小学校・中学校が一同に集まっての訓練は、中学生の地域参画意識を育て、ふるさとや周りの人々を思いやる気持ちを育てる。

また、地域を活性化するためにも、学校が中心になって地域と連携した取組を続けていきたい。